

広報

shobara

3

2015/March
No.120

Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

月に一度の至福の音色

毎月1度、市役所市民ホールで開催している「ロビーコンサート」が、2月23日の開催で節目の50回を迎えました。記念すべき回の出演は、20代～80代までの幅広い年齢層のメンバーで活動している「東城コールエコー」の皆さん。ホールに響く伸びやかな美声が、聴衆を魅了していました。

2 特集 あなたの笑顔が見たいから～発達障害を考える～

- 8 功績をたたえ35人を表彰
- 9 庄原市に光がやってきます
／集団回収を始めませんか
- 10 シリーズ介護保険
- 11 シリーズ庄原市国保の将来のために
／コミュニティ助成事業で地域づくり
- 12 廃校ノスタルジア in 庄原
／出産祝い金を見直します

- 13 安心・安全な毎日のために
／母子保健だより
- 14 健康広場
- 15 読者コーナー
- 16 市政トピックス
- 20 カメラレポート
- 23 お知らせ



あなたの笑顔が見たいから

— 発達障害を考える —



「発達障害」。近年、よく耳にするようになった言葉ですが、発達障害がどんなものなのか皆さんご存知でしょうか。

発達障害は見た目ではわかりにくいことや、その特性がまだまだ認知されていないことから、誤解や偏見で苦しみ、悩みや不安を抱えている本人とその家族が多くいます。

その問題の解消には、発達障害への理解と周囲の支援が不可欠です。

障害があっても、なくても、誰もがこのまちですと安心して暮らしていくために、今月は発達障害をテーマに考えてみたいと思います。

知る

Learning

発達障害の症状と特性

発達障害とは、一般的には「通常、低年齢で症状が現れる脳機能の障害」とされ、知的な遅れを伴う場合と、伴わない場合があります。

また、障害が目立つ場面もありますが、優れた能力を發揮している場面もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されないこともありま

す。幼児のうちから症状が現れ、コミュニケーションをとったり、対人関係をつくったりすることが苦手です。同じ行

（※）発達障害者支援法では、発達障害の定義は、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（AD/HD）その他これに類する脳機能の障害であつて、その症状が通常、低年齢で発現するもの」とされています。

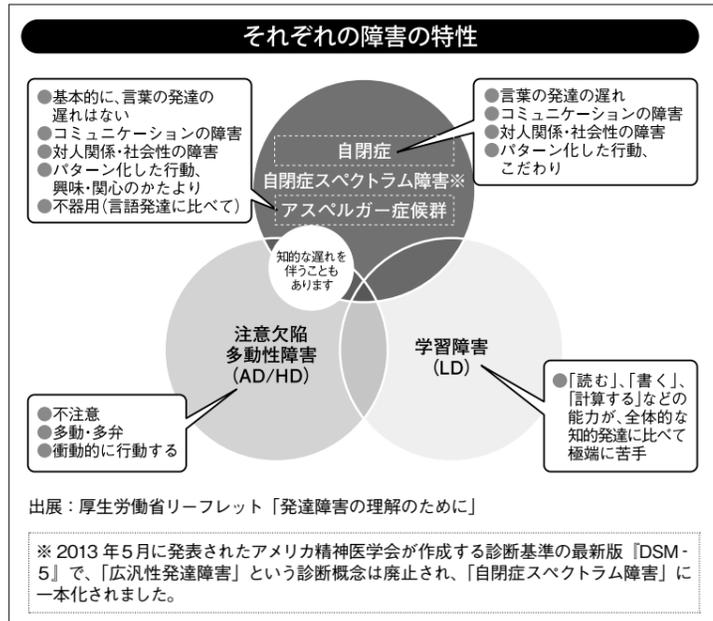
動パターンを繰り返す、こだわりが強いといった特性もあり、その行動や態度が、「変わった人」「困った人」「自分勝手な人」などという誤解を生む要因にもなっています。落ち着くこと、感情をコントロールすることが苦手なことから、親のしつけが悪いという見方をされることもあります。

全国的に発達障害が疑われる子どもが年々増加

れつきの障害によるものなのか区別が難しく、障害の特性が重なり合っていたり、個人差もあつたりすることから、診断がつきにくいとされています。

全国的に発達障害が疑われる子どもが年々増加

発達障害の動向



● 庄原市で発達障害が疑われる児童把握数 (一部、知的障害児も含む)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
母子保健関係	-	24人	18人	19人	26人
保育所	20人	31人	76人	58人	44人
小学校	6人	24人	109人	139人	143人
中学校	-	-	20人	49人	35人
計	26人	79人	223人	265人	248人

● 知的発達に遅れはないものの学習面または行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の割合 (文部科学省による調査/2014.12.5)

	推定値 (95%信頼区間)
学習面または行動面で著しい困難を示す	6.5% (6.2%~6.8%)
学習面で著しい困難を示す	4.5% (4.2%~4.7%)
行動面で著しい困難を示す	3.6% (3.4%~3.9%)
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	1.6% (1.5%~1.7%)

※「学習面で著しい困難を示す」とは、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」の一つ、あるいは複数で著しい困難を示す場合を指し、一方、「行動面で著しい困難を示す」とは、「不注意」「多動性・衝動性」、あるいは「対人関係やこだわりなど」について一つか複数で問題を著しく示す場合を指す。

※全国(岩手、宮城、福島)の公立の小・中学校(計1200校)の通常の学級に在籍する児童生徒が対象。

※95%信頼区間とは、95%の確立で悉皆調査(調査対象を全て調査すること)の場合の集計結果が含まれる範囲のこと。

していません。平成24年に文部科学省が行った調査では、通常学級に在籍する発達障害の可能性がある児童数が、全体の6.5%に達するという結果が示されました。

本市でもその把握数が増え、平成25年度で「発達障害が疑われる児童数」は248人で、15歳未満人口(4221人/平成25年4月末)の約6%となっており、顕在化していない数を合わせると、実数はさらに多いのではないかと推測できます。

100人中6人、30人学級で2人いる計算になります。この把握数が増えている要

因として、発達障害が広く認知されたことや診断の精度が上がったこと、早期発見に向けた取り組みや保護者意識の向上などが挙げられますが、数字とは別に、保育所や学校、相談機関などで、「昔に比べてもそうした疑いのある子どもが増えている実感がある」という声も上がっており、専門家は「実際に発症率が高くなっていると考えられる」と言及しています。

また、幼い頃はさほど気にならなかった方が成人になり、生きづらさを感じて、専門機関に相談するという人が増えています。

理解する Understand

発達障害と向き合う家族の思い

庄原市在住の30代の女性Aさん

つらい日々を過ごした幼少期

Aさんが長男Y君と他の子どもとの違いを感じ始めたのはY君が4歳のとき、当時通っていた保育所に自身が給食調理員として勤め始めてからでした。Y君と接する時間が増えたことで、家では見ないY君の様子を見て「他の子とは明らかにどこかが違うと感じた」とAさんは振り返ります。それまでY君は言葉の遅れや、おむつが取れない状況がありましたが、女の子に比べて男の子は発達が遅いと聞いていたこともあり、あまり心配はしていませんでした。

ところが、ある頃から「それはいけないでしょ」とAさんが注意した言葉を、おうむ返しのように繰り返してきたり、大きな音に過敏に反応してパニック状態になったりして、目に見えてY君の言動がおかしいと感じることが増えたといいます。「ある時期からは私が何を言っても通じない状態になり、どうしたらいいのかわからず精神的にとってもつらい日々が続きました」。大家族ということもあり、あまり手を掛けずに自由に育てたことが原因なのではとAさんは自分を責めました。

そんなとき相談したのが、知り合いでもあった市の保健師でした。その保健師の勧めで当時市が実施する県北部こども家庭センターによる年2回の定期相談を受け、その後の検査で広汎性発

達障害の疑いがあると言われました。専門の医療機関を紹介され診てもらった結果は「自閉症」。「ショックでしたが、やっぱりそうだったんだと少しほっとした気持ちもありました。そのとき診ていただいた先生が『お母さん一人で悩んでよく頑張ったね。お母さんが悪いんじゃないよ』と言ってくださり、思わず涙があふれ、気持ちがすっと軽くなりました」。

そこから定期的な療育※がスタートし、少しずつY君とAさん家族に変化が見られるようになっていきました。

支援と理解で大きく成長

保育所を経て小学校に入学したY君。支援学級がなかったため、普通学級で支援員がつけられることになり、Y君が集団生活に溶け込めるよう校長・教頭・担任・養護教諭を交え定期的に話し合いを持ちながら、Y君に合った個別支援が進められました。このことによって、その後のY君は飛躍的に成長していきます。

「入学する前から校長先生と話をさせてもらい、多くの面で配慮していただいたおかげで、すんなり学校になじむことができましたし、関わってくださった先生方のおかげで、本人はすごく成長しました。2年からは支援学級を作ってもらい、さらに目に見える

ように成長しました。先生と一対一で勉強できることで本人も落ちついて勉強できると喜んでいました」。

周囲の理解も深まり、笑顔で過ごす時間が増えたY君。「運動会でも本人が出る競技を工夫してくださり、リレーの時にはバトンを渡さなくても、トラックの内側を走っても誰一人文句を言われず、そればかりか最後まであきらめずゴールしたことをみんなで褒めてくれるんです。先生はもちろん、友達も本人を理解してくれていることが本当にうれしい」とAさんは感謝の言葉を続けます。

地域全体に理解が深まってほしい

「将来、親がいなくなっても社会人として生活していけるように」。そのためには、発達障害に対する理解がもっと広がる必要があるとAさんは語ります。

「我が家の場合は、家族内に障害を持っている人がいたこともあり自閉症への理解が深まりましたし、地域の人にもその理解が広まったことで支えてもらい頑張れました。これがもっと大きな地域、社会で理解が広がれば、本人もまたその家族も頑張れると思います。障害があっても当たり前接することができる社会、生まれたところで誰もが生活していける社会になってほしい」。

Aさんはそう願っています。

※療育…発達障害のある乳幼児、児童が、社会に適応できる力を高め自立した生活ができるよう、医療や教育などを通じて発達を支援すること。

必要な支援とは

発達障害にかかわらず、育児に不安を抱えている人は多くいます。その不安や悩みを解消するには、それを一人で抱え込まないということが大きなポイントです。「相談して気持ちの軽くなった」という声が多いことから、そこに寄り添う支援が欠かせません。そして発達障害がある場合は、早めに障害に気づき、適切な療育教育につなげることが重要です。

市が取り組む独自支援

市は平成19年度から「障害者相談支援員」を設置し、障害者の自立支援や社会参加を支援しています。さまざまな相談に応じ、関係先との調整などを行いながら、きめ細かな個別援助を実施しています。発達障害は障害の種類や程度、知的な遅れの有無などにより多様で複雑なことから、21年度から臨床発達心理学を専門とする大学教授に「障害者支援アドバイザー」として

就任をお願いし、発達障害をもつ子と保護者、保育士や学校職員を対象とした専門的な援助・助言を行っています。

関係課が連携して支援

発達障害児への支援を円滑に効率よく進めるために、「早期発見」「適切な支援」「支援の継続」の3つの柱を掲げ、関係4課（社会福祉課・保健医療課・児童福祉課・教育指導課）で連携支援を進めています。

相談を受けたときや、乳幼児健診、保育所・学校での言動などから「気になる子」に気づいたときには、その子の年齢や状態に応じて、担当課につなぎます。

担当課は、支援がどの程度必要かを判断し、支援が必要であれば個別の支援計画をつくり、専門家の助言を受けながら支援を行います。保育所、小学校、中学校に入る際には、関係課で移行支援会議を行い、次の支援部署へ引き継ぎます。



庄原市障害者支援アドバイザー
東京都小金井市
児童発達支援センター長

伊藤 英夫さん

文京学院大学人間学部学部長、同大学院人間学研究科教授。臨床発達心理学、発達障害の専門家。主な研究課題に発達障害児の統合保育、自閉症児の早期発見・早期診断、特別支援教育における自閉症児の指導など。日本発達心理学会代議員ほか。平成21年度から庄原市障害者支援アドバイザー。

が大切であり、庄原市では4課の連携によって円滑な支援につながっています。発達障害に対して4課が連携して支援に当たるとするのは全国的に見ても画期的ですばらしい取り組みです。今後は、発達支援センターの設置も視野に、さらなる支援の充実に期待しています。

周囲の人が早く気づき、適切な支援につなげることが大切です

発達障害は、早期発見・早期療育がとても大切です。多くの自治体が1歳半健診をしています。発達の遅れに気づかない場合もあり、すぐに療育にはつなげない状況があります。様子を見ましょと経過観察になっても、次の3歳児健診までは結局放置された状態になる場合もあります。こうしたところは多くあり、それは庄原市でも課題の部分だと思えます。

我々専門職から見て気になるお子さんが家で困っているかと言えば、そんなに困らない子も実際います。家にいるときには、その子中心で動いているため、好きなことができるので、そのときはおとなしく、その場を動き回るわけでもなく、会話もできるので一見普通に見え、親は気づいていないケースがあります。知的な障害がなく発達障害のある子がこのタイプが多く、こういうお子さんにいかに早く気づいてあげられるかが大切です。

1歳半や3歳児健診のときに、心理士から指摘を受けても、それほど深刻にとらえず、就学のときになって困るというケースもよくあります。本年度から庄原市では、全地域で5歳児相談をはじめますが、小学校に入る1年前に相談を受けることで、どういった特徴があるのか把握し、就学がスムーズに行くようにすることも、とても大切になってきます。

庄原市では、特別な支援が必要なお子さんに対して、個別の教育支援計画をつくるのが定着していますので、それを確認しながらその子の支援を考えることができます。これまでどういう機関にかかり、どういう診断を受け、どういう相談をしてきたか、学級で困っていることや指導していることなどが確認でき、その上でお子さんを見させていただくので、その後の先生方を交えた話し合いにつなげることができています。

発達障害児への支援は「早期発見」「適切な支援」「支援の継続」

支援する Support



社会福祉課
障害者相談支援員
正岡 清子

一人で悩まず相談してください

電話や訪問、来庁、個別支援会議など1カ月で150～160件を超える相談や支援連携をしています。現在、50人近い成人の方を支援していますが、ほとんどの方が何らかの生きづらさを感じていらっしゃいます。こういった方を一人でも少なくしたい、みんなが幸せに、安心して生きていけるまちになってほしい、そういう強い思いで取り組んでいます。

障害者支援アドバイザーから適切な助言をいただくことで、その人にあった支援を行うことができています。21年度からはアドバイザーのご協力のもと、発達障害児支援に関する講演会を行ってきました。開催するごとに参加者が増え、市民の皆さんの関心の高まりとともに、アンケートで9割以上の方が参加してよかったと答えてくださり、発達障害への理解が深まっていると感じています。

26年度はアドバイザーと共に、保育所、小中学校を訪問し、53人の幼児、児童生徒を支援しました。その際には、可能な限り、保健医療課、児童福祉課、教育指導課と一緒に訪問支援を行いました。

子どもに何かあると、ほとんどが母親のせいになります。先生を信じ、相談員を信じ、学校を信じ、地域にも見守ってくれている人がいるというのがわかれば、子どもは変わっていきます。それにはまずご相談いただくこと。そこから何か光が見えてくると思います。相談をいただければ、お話もできますし、支援できることがあるかもしれません。成人された方のご相談もお受けしています。

どうぞ一人で悩まないで相談においでください。



定期的に4課連携会議を開催し、支援を共有しています。

相談から支援へつなげます

保健医療課 保健師 新田千明



保健医療課では、母子健康手帳の交付時から新生児訪問、健診などでお子さん、保護者と関わりがあり、その都度相談をお受けしています。乳幼児健診で発達に気になるお子さんがいれば、心理相談員とともにお話を聞き、必要があれば遊びの教室「すたあと」を紹介しています。この教室では、子どもは遊びを通して人と関わる楽しさを体験し、保護者の方は子どもとの関わり方や子育ての相談ができます。本年度から全地域で5歳児相談をはじめ、就学前の子どもの発達状況を把握し、就学支援へとつなげています。

健やかな育ちの保障のために

児童福祉課 専門員 高橋美栄子



児童福祉課では、保育所に入所する子どもの健やかな育ちを保障するため、保育士の資質や専門性の向上を図る研修を実施するとともに、加配保育士を配置して、その障害の特性を踏まえた適切な環境設定や支援を行うことで、子どもたちが可能性を最大限に伸ばし、自立するために必要な力を培うよう取り組んでいます。

また、一人一人により適切な支援を行うため、発達障害児専門の機関と連携し、専門家に保育所での子どもの様子を見て相談・指導を行っていただく「保育所巡回相談」を実施しています。

より充実した支援に努めます

教育指導課 学事係長 小原智子



教育指導課では、特別支援教育を推進していくため、教職員の研修会を実施したり、学校を訪問し、指導助言を行ったりしています。また、特別支援教育支援員を配置して、特別な支援を必要とする児童生徒への教科指導の補助、児童生徒の学校生活全般の指導、身辺の介助などを行っています。さらに、発達障害などの専門家巡回相談事業を実施し、学校からの要請に応じて、専門家に学校を訪問していただき、児童生徒の様子を見たり、担任・保護者などへの個別相談に応じたりしています。

市は、庄原市子育て支援事業の一つとして、健康診査や子育ての中で発達の気になる乳幼児や保護者を対象とした子育て支援センターを2カ所（田川、帝釈）開設しています。これらは療育を行う施設ではなく、専門機関と連携しながら、遊びや集団でのかわりを通して子どもの発達を促したり、個別のかわりや専門的な助言、保護者同士の交流を行ったりして、保護者の育児不安や負担感などの軽減を図る場になっています。

田川子育て支援センター「すてっぴ」をご紹介します

「すてっぴ」は、子育て支援が必要な人のための施設です。子育てや子どもの発達について、心配や不安のある保護者と、その子どもが集まれる場所です。また、同じ悩みや心配事を持つ保護者と出会う場所でもあります。

保育士、育児セラピストやベビーマッサージインストラクターなどの資格をもつ支援員がスタッフとなり、定期的に北部こども家庭センターや心理相談員と連携を取りながら、支援を行っています。

利用者からは「気軽に参加できる」「子どもと一緒に笑顔で過ごせる」「お母さん同士でつながりができた」などと好評です。ちょっとした悩みも相談に応じています。



田川子育て支援センター「すてっぴ」
住所：庄原市濁川町43-9
☎0824-72-3303
自由相談日…毎月第2木曜10時～12時



帝釈子育て支援センター「じゃんぶ」
住所：庄原市東城町帝釈末渡2021
☎08477-6-0505
自由相談日…毎週火・金曜13時～15時30分
毎週水曜10時～12時 / 13時～15時30分

すてっぴのスタッフの思い

子育て環境は昔とはずいぶん変わり、一人で育児に悩み、抱え込んでしまうケースが多くみられます。また、育てにくさから、子どもへの関わり方がわからず、閉じこもってしまう親子もいます。子育ては思う以上に大変ですが、子育てを通しての出会いや喜びもたくさんあります。

すてっぴでは、楽しく遊ぶなかで、子どもたちが小集団の中で認められる経験を重ね「自分が好き」という気持ちが持てるよう、一人一人に合わせた支援を心がけています。みんなの笑顔が増え、保護者の皆さんにとって「ほっ」とできる場所でありたいと思っています。気持ちに寄り添いながら、日々の子育てや子どもの成長について一緒に考えていきたいです。どんな相談でもかまいません。気軽にご相談ください。

大切なのは発達障害の有無にとらわれず、その子と向き合い関わっていくこと、親も学びながら成長していくことです。



広島県北部こども家庭センター
判定指導課 課長
清水 篤 さん

医師に相談するケースも増え、診断名がつく子が増えているということもあると思います。

ここで気をつけなければいけないのが、「発達障害」という診断名がついたら大変で、「つかなくなったから大変ではない」のではないということ。子どもの特徴に診断名がつかなくても、育てにくい特徴があれば、その特徴に応じたかわり方が必要です。一人一人特徴があり、その子たちに合わせて対応を考えていかなければいけない。個別に具体的に、一人一人に合わせて相談の中で一緒に考えて考え、かわっていくことが何より大切です。

育てにくいお子さんをみながら、親も学びながら、親同士がつながり、みんなで力をあわせ、ときには愚痴も聞いてもらい、そして一緒に育てていく。こうした理解がもっと多くの人に広がってほしいと思います。

昔は、発達障害という診断名はついていませんでした。「落ち着きのない子」とか「乱暴な子」と言って、医師に相談するということはほとんどありませんでした。今は、発達障害という認識が広まったため、「もしかしたら発達障害かもしれない」と早い段階から

功績をたたえ 35人を表彰

『庄原市表彰』

総務課人事秘書係 ☎082473-1125

庄原市表彰式を2月21日、市役所本庁舎で開催しました。

庄原市表彰は、本市の政治、経済、文化、社会、その他各分野にわたり、市政の振興に寄与した方、市民の模範と認められる行為があつた方などを表彰しているものです。

この度の表彰は、多年にわたり功労のある方で、民生委員児童委員を務めた方、選挙管理委員を務めた方、消防団員の方、善行のあつた方として献血を30回以上達成した方、本市に多額の浄財などを寄附した方、合わせて35人です。

表彰式には10人が出席。木山耕三市長は「皆さんの職務に対する熱心な取り組み、人を思いやる気持ちに対し、心より敬意を表します」とあいさつし、一人一人に表彰状と記念品が贈られました。



庄原市に光がやってきました

情報政策課情報政策係 ☎082473-1113

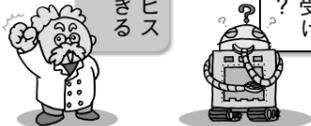
ひかり電話を利用すると 通話料が割安に

市は、本年度から平成30年度にわたり、超高速情報通信網の整備を行っています。

これにより、今までの固定電話よりも通話料が安価となる「ひかり電話（インターネット技術を利用した電話）」サービスを受けることができます。詳しくサービスの内容については、博士に聞いてみましょう。

Q どんなサービスを受けることができるの？

A 市内では次のサービスを受けることができるようになります。



ひかり電話サービス

○現在の電話番号や電話機をそのまま利用することができ、今までと利用方法は

変わりません。

○110番や119番の緊急通報が利用できます。

○本市が整備する住民告知端末を併せて利用することで、市内電話同士の通話が無料になります。

○NTT契約回線をつなげる電話に対しては、通話料金が全国3分8円（税抜）で利用することができます。

また、固定電話に比べ携帯電話への通話料も安くなります。

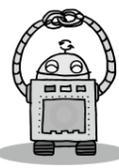
平成27年度にサービスが始まる地区で、4～6月にかけて説明会の開催を予定しており、この説明会でサービスへの加入方法についても説明を行います。具体的な内容が決まりましたら、該当の地域へお知らせします。

光ケーブル敷設のための 電柱調査を実施しています

現在、超高速情報通信網整備の工事作業員が庄原・東城



その2



固定電話とひかり電話+住民告知端末との基本料金の比較（消費税は除く）

固定電話	基本料金 1,450円 ※ダイヤル回線
ひかり電話 + 住民告知端末	基本料金 2,000円 +550円

※月額550円の追加（オフトーク通信月額500円と同等の負担）で、告知放送を聴くことができるようになります。

都市計画区域内の電柱調査などを行っています。
工事作業員は「庄原市超高速通信網整備工事従事者」と記載した腕章を着用していますので、ご協力をよろしくお願いします。

【庄原市表彰受賞者】（氏名 五十音順 敬称略）

■献血回数30回以上の方

- 石原 遂有（東城町）
 - 石原 蓮（三門市町）
 - 井上 真里（東城町）
 - 梅木 實（川西市町）
 - 小畑 美樹（東城町）
 - 竹上 孝司（西城町）
 - 田村なおみ（殿垣内町）
 - 千原 直也（西本町）
 - 土井 幹雄（東本町）
 - 藤岡 学（西本町）
 - 藤岡 幸博（西城町）
- ※市内在住で、平成26年9月30日現在、献血回数30回に達した方

■選挙管理委員15年以上の在職者

向田 福夫（高野町）

■消防団員25年以上の在職者

- 家原 学（三門市町）
- 伊折 直人（西城町）
- 石原 博行（総領町）
- 片倉 端吾（西本町）
- 黒田 正彦（中本町）
- 坂口 登（高野町）
- 高橋 秀典（総領町）
- 瀧本 満男（川北町）
- 段 政則（総領町）
- 土井 幹雄（東本町）
- 豊田 薫（高町）
- 西川 誠（高野町）
- 野木 一伸（西城町）
- 林 透（高町）
- 藤田 大作（平和町）
- 前田 泰三（西城町）
- 牧原 康（高野町）
- 松島 昭敏（高野町）
- 妙田 謙治（上原町）
- 森戸 康浩（総領町）

■価格100万円以上の金品の寄附者

- 荒木 攻（広島市西区）
- 宇山 英幸（奈良県橿原市）

■民生委員児童委員15年以上の在職者

田邊 正子（東城町）

集団回収を はじめませんか

環境政策課環境政策係 ☎0824-72-1398

集団回収って何？

集団回収は、リサイクル可能な資源（新聞、缶、ビンなど）を、地域住民で自主的に回収し、資源の引き受け業者へ引き渡すリサイクル活動で、地域による、地域のための活動です。リサイクルの推進や地域の活性化につながることはもちろん、回収量に応じて市が報奨金を支給するので、地域のための活動資金を生み出します。

手順

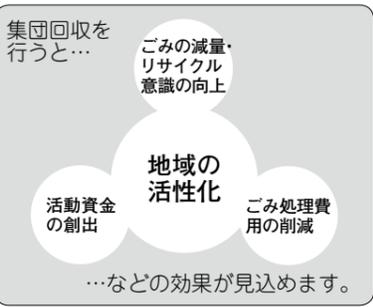
- ①回収する資源の品目や、資源の一時集積場所などを地域で決める。↓②資源の引き受け業者と、引き受けてもらえる品目や引き渡し方法などについて相談する。↓③地域の皆さんに回収内容を周知し、活動への理解と協力を得る。↓④回収を実施・資源を引き渡し。↓⑤回収実績や資源の売却益、報奨金の受け取り額、またその活用方法など活動の成果を地域で公表する。

再生資源物回収報奨金

集団回収を行う団体に対して、要件を満たす場合には報奨金を支給します。

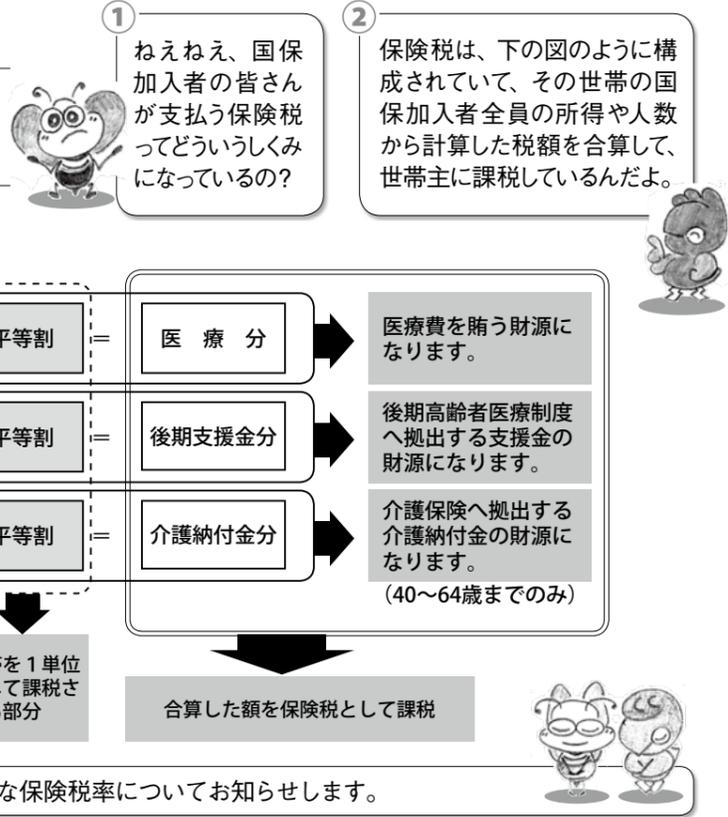
- 対象団体 自治会、学校PTA、子ども会などの地域の住民団体
- 支給金額 引き渡した資源1kg当たり5円

※詳しくは、環境政策課へ問い合わせるか、市のホームページをご覧ください。



第5回 保険税 (国民健康保険税) のしくみ

保健医療課国保年金係 ☎0824-73-1158



新調した獅子舞ががぶり(亀谷自治会)

市内の自治振興区や自治会などが、宝くじを財源とするコミュニティ助成事業の採択を受けて、備品を整備しました。この事業は、地域コミュニティ活動の促進とその健全な発展を図ることを目的に、一般財団法人自治総合センターが行う事業で、前年度の9月ごろから募集が行われます。

平成26年度は9件のうち次の3件が採択され、それぞれの地域では地域活動の基盤の整備が図られ、地域のコミュニティづくり役に役立てられています。

宝くじの財源で備品を整備

コミュニティ助成事業で地域づくり

自治定住課自治まちづくり係 ☎0824-73-1209
危機管理課危機管理係 ☎0824-73-1206

実施団体名	整備備品	整備事業内容	上段:助成金 下段:事業費
西城自治振興区	椅子40脚、半円型テーブル8台、3人掛け長椅子4台、回転ホワイトボード1台	センターのホールに椅子・テーブルを整備し、住民が多目的に使用するコミュニティ空間を創造する。	2,500,000円 2,511,332円
亀谷自治会	獅子舞用具セット1式	古くなった獅子舞用具を更新し、領家八幡神社例大祭の神祇奉納で使用。地域文化を伝承する。	1,100,000円 1,108,678円
	テント1台、椅子20脚、長方形テーブル4台	子どもから高齢者まで世代を越えて集まれる施設として整備する。	
美湯ハイツ防災会	ノートパソコン1台、デジタルカメラ1台、プリンタ1台	神祇の様子や地域の情報を記録し、保存、伝承する。町外や町内出身者へイベントや帰郷の呼びかけに使用する。	1,900,000円 1,965,600円
	消防用設備1式(消防ホース、ホース格納庫、スタンドパイプ、ヘルメット、トランシーバー、メガホン、リヤカー、発電機、強力ライト、合図灯、倉庫、管釜、消火栓開閉キー)	初期消火への備えが整うとともに、日常的に資機材を目にしてもらい防災意識の高揚を図る。	

シリーズ介護保険③

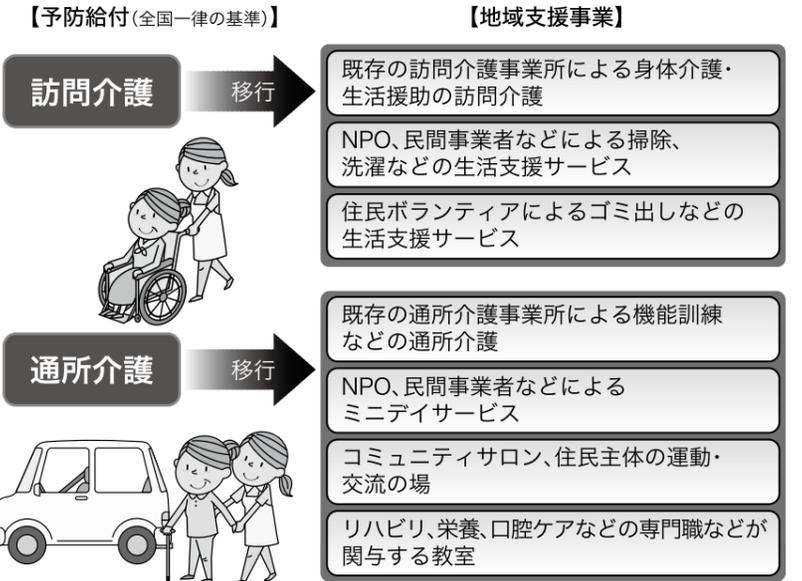
平成29年度から新しい総合事業に移行します

～要支援1・2の方を対象とした「通所介護」・「訪問介護」サービスが、新しい制度に変わります～

高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎0824-73-1165

昨年6月に介護保険法が改正され、現在、要支援1・2の方を対象とした介護予防サービスのうち、「通所介護」・「訪問介護」が、「新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)」に再編され、平成29年4月までに全市町村で実施されることになりました。

これにより、「通所介護」・「訪問介護」が、“全国一律のサービス”から“市町村独自のサービス”へと移行し、これまでの介護事業所によるサービスの提供に加え、多様な担い手による新しいサービスも加わります。



Q 庄原市はいつ移行するの？

A 平成29年度から新しい総合事業へ移行します。平成27・28年度は、地域の各種団体と協議しながら、多様な主体によるサービスが提供できる体制や、地域の特性を生かした仕組みなどを充実させる「移行準備期間」とします。

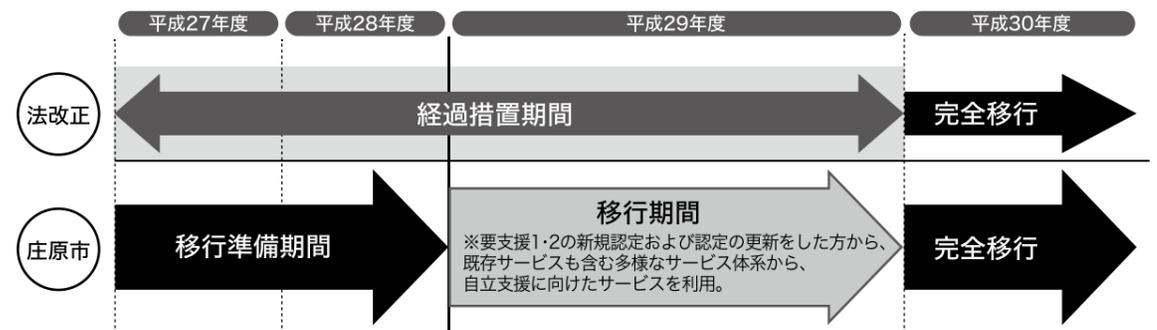
Q これまで利用できた「通所介護」と「訪問介護」は、引き続き利用できるの？

A 平成27・28年度は介護事業所によるサービスを受けることができます。その他の「訪問看護」・「福祉用具貸与」などのサービスは、これまでどおり介護予防サービスとして利用できます。

Q それは平成29年度以降も利用できるの？

A 要支援認定の有効期間までは介護事業所によるサービスを受けることができます。移行期間(平成29年度)中に新規認定および認定を更新した方から新しい総合事業に移行していきます。

【移行のイメージ図】



安心・安全な毎日のために 庄原警察署 ☎0824-72-0110

平成27年、庄原警察署では「安全・安心庄原いちばんの実現、アンダー100作戦」として、「犯罪抑止」と「交通事故抑止」の2つの大きな柱を立てて、さまざまな施策を実施します。
 ※アンダー100作戦の「100」は、「特殊詐欺被害を10億円以下にする」「交通事故死者数を90人以下にする」という目標数値の合計を示しています。

庄原管内の現状

●**犯罪情勢**
 ○刑法犯認知件数は過去最少記録を更新し、ピーク時の平成14年以降、減少傾向を継続中。昨年、庄原署で刑法犯を認知した件数は132件で、平成14年(406件)の67.4%に減少。

●**交通事故情勢**
 ○交通事故死者数はほぼ横ばい状態で、発生件数は平成25年以降2年連続で減少。昨年の死者数は2人(過去10年平均2.4人)で発生件数は80件。

高齢者が対象となる被害の現状
 ○特殊詐欺の被害者の約6割が高齢者(1人当たり平均約450万円の被害)
 ○交通事故死者数の約半数が高齢者(過去10年で死者25人中高齢者が12人)

子ども・女性が対象となる被害の現状
 ○性犯罪・声かけ事案が急増(把握件数は3年前に比べ約2倍に増加)
 ○DV・ストーカー事案が急増(認知件数は5年前に比べDVは約3倍、ストーカーは約6倍に増加)

悪質巧妙化する犯罪の現状
 ○特殊詐欺の被害総額が過去最悪(県内での被害額は約16億円:5年前に比べ約19倍に増加)
 ○サイバー犯罪による被害が急増(相談受理件数は対前年比約3倍に増加)

今年への対応

●**犯罪抑止**
 ●刑法犯認知件数の戦後最少記録のさらなる更新
 →庄原署の抑止目標は128件以下
 ●特殊詐欺の被害防止「なくそう特殊詐欺被害・アンダー100作戦」の推進
 →県内の年間被害総額10億円以下を目指す(昨年、庄原署管内は3件、約1,350万円に対前年比約43倍増)

●**交通事故抑止**
 ●県内の年間交通事故死者数90人以下、うち高齢者40人以下の推進
 →庄原署の抑止目標は1人以下
 ●交通事故発生件数のさらなる抑止(年間13,000件以下)
 →庄原署の抑止目標は90件以下

具体的取り組み — 「アンダー100作戦」の推進 —
 ◎市や関連団体との連携による広報活動と抑止活動の推進

犯罪抑止
 →街頭活動の強化と関係店舗や小・中・高校、大学への指導による犯罪防止活動の推進
 →高齢者世帯に対する巡回連絡、各種会合などで被害防止を指導
 →金融機関などによる水際対策の推進
 →だまされたふり作戦(詐欺に引っかかったと見せかける)による受け子(現金の受け取り役)の検挙と突き上げ捜査(検挙した犯罪者から、上位被疑者の検挙、犯行拠点の摘発などにつなげていく捜査)の推進

交通事故抑止
 →策定した「速度取締り指針」を公表し、交通事故抑止の取締りを推進
 →反射材用品の活用、全席シートベルト着用の徹底
 →地域と密着した交通安全教育の推進
 →飲酒・無免許運転などの悪質交通違反の指導取締りの徹底と市民の意識高揚

学校備品の新たな門出 『廃校ノスタルジア in 庄原』開催

庄原市内の休廃校施設で長年使われていなかった学校備品を販売します。理科の実験道具、楽器、算数の教材、給食の食器など…。忘れられ捨てられるのではなく、新たに脚光を浴びられる場所に送り届けたい。そんな想いから『廃校ノスタルジア in 庄原』は動きだしました。

今回は市内で廃校となった旧大屋小学校や旧始終小学校の学校備品も含まれます。

会場となるのは7年前に休校となった田川小学校。イベント当日に向け、地元の方、市民団体、学生、行政が力を合わせ、準備を進めています。

学校備品の新たな門出となる日、一日だけの開校日には学校備品の販売のほかに、地元産のそばや野菜、庄原焼きなども集まりにぎわいます。

多くの方のご来場をお待ちしています。ぜひ、学校を懐かしみ楽しんでください。

問い合わせ
 教育総務課 学校管理係
 ☎0824-73-1186

とき 3月29日(日) 10時~15時
 ところ 田川小学校

※詳しくはWebで! **廃校ノスタルジア in 庄原** を検索!

庄原市内で頑張っている子育てサークルをご紹介⑥

東城地域のベビーサークル 親子ともに楽しくリフレッシュできる場 育児サークル「ありんこクラブ」

未就園児とその保護者を対象に毎月1回、東城子育て支援センターに集まって活動しています。保育所へ入る前の友だちづくりにぴったりのサークルです。



ある日の様子。風船に絵を書いて遊び、みんなでワッフルを作って食べました



★ **活動内容**
 育児の情報交換や、親子ともに心身のリフレッシュを図れる楽しい遊び・教室(クッキングやフラワーアレンジメントなど)・遠足・保育所見学、スクラップブック作りなどを行っています。

★ **参加しているお母さんの感想**
 最近「育児サークルすくすく」(妊娠中期~授乳中の母子対象のサークル)から移行して、このサークルに参加し始めました。クッキングに参加したときは、料理をしながら他のお母さんと交流ができ、子どもにも同年代の友だちをつ

くることができました。まだ参加して間もないですが、色々な企画があり親子ともに楽しんで参加しています。

興味のあるイベントのみの参加もできます。気軽にご参加ください。お待ちしております。

【「ありんこクラブ」の申し込み・問い合わせ】
 東城子育て支援センター(こどもの館) ☎08477-2-0160
 月~金(祝日・年末年始は休み)
 9:30~12:00/13:00~15:30



出産祝金を見直します

児童福祉課あんしん支援係 ☎0824-73-0051

市は子どもの誕生を祝福し、次の世代を担う子どもの健やかな成長を願い、出産祝金を支給しています。
 平成27年度から、出産祝金の金額と支給要件を次のとおり見直します。今回の見直しによる減額分は、入学祝金などの子育て支援策に活用します。

見直し前 ●金額 ●第1子・第2子/20万円 ●第3子以降/35万円

見直し後 ●金額 ●第1子・第2子/15万円 ●第3子以降/25万円

【保護者の主な支給要件】
 ・新生児が出生した日に、1年以上引き続き庄原市の住民基本台帳に記録され、かつ市内に生活の本拠を有すること。
 (この期間が1年未満の場合は、1年を経過した日をもって、この要件に該当します。)
 ・祝金を受けとったのち、さらに1年以上、市内に住所を有する意思があること。

これらの見直しは、平成27年4月1日以降に出生した子どもから適用されます。平成27年3月31日まで出生した子どもは、見直し前の金額などが適用されます。
 詳しくは、児童福祉課あんしん支援係(☎0824-73-0051)または各支所市民生活室へお問い合わせください。





readers voice 読者 コーナー

読者の皆さんの広報しょうばらを読んだ感想や、庄原市への思いなどを掲載するコーナーです。1月号で添付した庄原写真はがきでお寄せいただいた声をお届けします。

写 真はがき付の、広報しょうばら。また喜んで利用いたします。今回も早速出し、比和町出身の友人がとっても喜んでくれました。ちなみに、私は昔から情報誌に興味があり、昭和50年代以来現在まで40年間保存しております。昔は「庄原市政だより」で一枚の4ページで事務的でした。

新 春の広報紙はともステキな写真はがき第2弾でうれしくなりました。遠方の古里を恋うる同級生や近隣の友へも早速春の便りをしようと思います。毎月の広報紙で色々なことを知らせてもらい、とても参考になり助かります。また、改めて庄原のよい所がたくさんあることに気付かせてもらいます。感謝！（松ぼっくり75歳女性）

毎 月楽しみに拝見させていただいてありがとうございます。今月は写真はがき含め、ボリュームのある内容でした。中でも、木山耕三市長と西田篤史さんの対談は非常に興味深かったです。西田さんの一言一言とても的を得ていたように思います。特に「セットストックに変わるコンサートイベントを」は、私もしひ実現していただきたいと思っています。私は10年ほど前、松江市の大学に通っていました。当時、全く知らなかったセットストック。後になって、そんな楽しいイベントがあったとは……と知らなかったことを後悔しました。ただ、当時は知っていたても行く手段がなかったかもしれません。でも今は違います。尾道松江線で庄原はぐっと近くなりました。もし、大々的に周知したら……もし、交通手段の無い人のためにツアーバスなどで会場を結べば、参加したい人はたくさんいると思います！

高 町の馬場地区では、中山間事業の一環として、とうもろこしとかぼちゃの植え付けと収穫を地域全体で取り組んでいます。中でも高保育所との交流

は、園児の皆さんの楽しそうな笑顔に頑張る意欲をもらい、途中、除草・防除作業と大変なことが多い中、収穫のときの喜びは格別なものがあります。昨年、万次郎という品種のかぼちゃを植え付けたところ、かなりの収穫があり、地域全体に配分することができました。甘さ抜群で冬に不足しがちなビタミンが補充されスープなどにして食しました。おかげで風邪もひかず、寒いこの冬を乗り切りたいと思っております。（ユージン75歳女性）

健康 広場

healthy column

3月は自殺対策強化月間です

皆さんは「ひきこもり」をご存知でしょうか。

ひきこもっている方の中には死にたいと思うほど悩んでいる方がいます



東城支所市民生活室主任保健師 栄正人

ひきこもりとは、「精神疾患ではないが、さまざまな原因の結果として、学校に行っていない、就労していない、家庭以外での交流を避け、6カ月以上家庭にとどまり続けている状態」のことです。外出していても、人とかわかっていない場合も含まれます。また、こころの病気や発達障害が関わっている可能性があり、診察によって明らかになる場合もあります。長期間のひきこもりは、家族、特に親が、子どもをひきこもらせた原因は自分にあると思つて悩むなど、とてもつらく苦しいものになっていることがあります。そのため、本人はもちろんのこと、家族に対してもきめ細かで継続的な相談支援や早期の把握が重要になってきます。

●ひきこもり本人の状態
周りの人が、本人の気持ちを知るのは難しいですが、本人が強い苦痛を感じている気持ちや行動には、次のようなことがあります。

- ① ひきこもりから抜け出すきっかけがつかめない
- ② 誰に相談したら良いかわからない
- ③ 抑うつにより気力がわかず、焦るばかり

④ 家族とのやりとりがづらい
⑤ いけないとは思っているが、母親に暴力を振るってしまう

●関わり方

1 継続的に温かく見守る
本人が悩みや苦しみを解決したいと思つたときが、社会参加への好機です。本人の小さな訴えを見逃さないようにしましょう。

2 周りが焦らない
本人が社会参加するのに、停滞したり、逆戻りしたりすることもあります。じれったくなるかもしれませんが、時間が必要と受け止め、気長に支援しましょう。

3 受診を勧める
こころの病気に原因がある場合、深刻なものには自殺につながる恐れもあります。必要時は精神科・心療内科の受診を勧めましょう。

4 相談窓口
本人が相談できない場合は、家族だけでも相談できます。家族だけの対応でつらい場合は、保健師などの専門職とともに改善策を考えましょう。

相談窓口
○保健医療課健康推進係
☎0824・73・12555
または各支所市民生活室
○北部保健所保健課
☎0824・63・5181
○広島ひきこもり相談支援センター（中部・北部センター）
☎082・893・5242
メール soudan@qg.pref.hiroshima.jp
（お住まいの市町をお知らせください。）

○ひきこもり当事者と家族の会（つばさの会）
東城地域では、ひきこもり当事者と家族の会をつくる「つばさの会」を月に1度開催しています。他地域からの参加も可能です。
問い合わせ
東城支所市民生活室保健福祉係
☎08477・2・5131

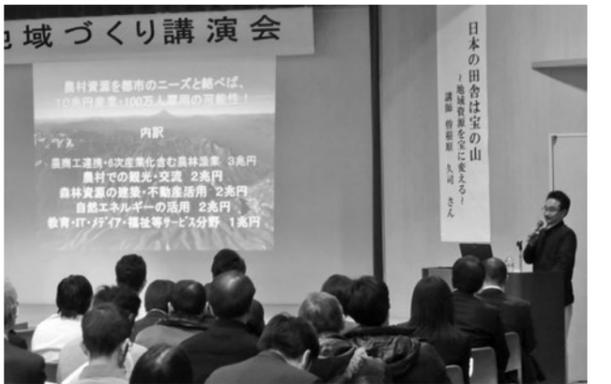
総務課

地域資源の活用期待膨らむ

地域づくり講演会

「日本の田舎は宝の山」地域資源を宝に変える」

2月3日、内閣府地域活性化伝道師に選出された、NPO法人えがおつなげて代表理事の曾根原久司さんによる講演会を庄原市ふれあいセンターで開催し、約150人が会場に訪れました。曾根原さんは、都市部の大手企業の社員研修の一環として、社員が耕作放棄地を開墾し、美しい棚田として再生させる取り組みを行っている事例や、その棚田で取れる米を原料に日本酒を販売していることなど、農村起業による



講演する曾根原さん

商工観光課

売り場改善へ専門家がアドバイス
物販拠点施設販売力強化事業

観光消費額の向上による地域活性化を図るため、庄原観光いちばん協議会逸品推進部会は12月～2月の3カ月、専門家を招いて物販拠点施設の販売力の強化に取り組みました。今回指導したのは、九州各地の特産品を集めた直売所「九州のムラ市場」の店長を務めた経験のある中野幸博さん。道の駅など市内物販拠点施設5カ所を巡り、現地調査や関係者の聞き取りを行いながら、商品陳列、POP（商



中野さんのアドバイスで売り場の改善を図る（道の駅たかの）

商工観光課

観光客ニーズに合わせた
商品づくりを学ぶ
庄原市観光地づくり講座

観光商品づくりのノウハウを学ぶ「庄原市観光地づくり講座」を1月14日、2月4日、5日の3日間、庄原市ふれあいセンターで開催し、観光関係者など約25人が参加しました。これは、昨年度実施した庄原市観光実態調査などの結果をマーケティングデータとして活用し、観光客のニーズにあわせた庄原市の観光ツアーを企画開発するものです。参加者は、観光消費額を引き上げるためのサービスや、魅力的な商品タイトルつけ方など、商品づくりのコツを学びながら、グループワークを通して、有望な観光資源とターゲットを検討し、魅力ある周遊ルートを開発しま



グループワークで周遊ルートを開発

スキーの技術向上と楽しさを知ることを目指し、恒例となったレベルアップスポーツ教室を1月25日、ひろしま県民の森スキー場で開催しました。当日は、小学1年生から大人まで142人が参加。それぞれのレベルにあったクラス（初心者・初級・中級・上級・競技）に分かれ、全日本スキー連盟公認指導者を中心とした講師から、スキーの基本・競技技術などを学びました。参加者は技術習得に向けて真剣に取り組みながらも、参加者同士の交流を深めていました。

生涯学習課

スキーの基本・競技技術を学ぶ
レベルアップスポーツ教室



講師の指導を受け板を滑らせる参加者

自治定住課

人を知り、つながることで
活動の充実を考える
地域づくり実践研修・報告会

市と自治振興区連合会は2月15日、地域に住む人を知り、つながることで活動を充実するための研修会を庄原グランドホテルで開催し、64人が参加しました。最初に、全国各地の地域づくりや市民活動を支援している、講師の川北秀人さん（人と組織と地球のための国際



講演する川北さん

研究所代表）が講演し、活動の充実には地域や人を知ることが重要であることを指摘。地域での参加者が増加する工夫をして成功した他の事例を上げながら、国勢調査の資料をもとに「庄原市では人口が増加した年齢層もある。地域の状況を知り、工夫することで活動は充実する」と解説しました。また、本年度は自治振興区や地域おこし協力隊などの活動報告も実施し、市内の活動を知り今後のあり方を考える機会となりました。参加者からは「うちでも取り組んでみたい」「報告にあった計画が実施されるとおもしろそうだ」といった声が聞かれました。

広島市大雨災害義援金受付終了の報告とお礼

昨年8月19日からの大雨などにより、広島市で甚大な被害が発生し、半年が経過した現在も被災地では復興に向けた取り組みが進められています。庄原市では昨年8月22日から、この災害に対する義援金の受け付けを行ってきましたが、日本赤十字社の義援金募集の終了にあわせ、本市でも昨年12月26日をもって義援金の募集を終了しました。市民の皆さま多数のご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

字社の義援金募集の終了にあわせ、本市でも昨年12月26日をもって義援金の募集を終了しました。市民の皆さま多数のご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

お寄せいただいた義援金総額 515件 14,117,489円 ※義援金は日本赤十字社の義援金窓口へ振り込みました。

●社会福祉課 障害者福祉係 ☎0824-73-1210●

商工観光課

民泊受入のノウハウを学習
民泊体験先進地視察研修開催

庄原市さとやま体験交流協議会は1月20日、24日の2回にわたり、民泊受入先進地の事例を学習する視察研修を開催し、延べ71人が参加しました。参加者は、受入先進地である安芸太田町・北広島町・江田島市を訪れ、受け入れを行っている家庭の体験談やノウハウ、民泊を元氣な地域づくりに役立っている事例を学びました。江田島市の清水昭彦さんは「受け入れ家庭同士のつながりができることや、子どもたちとの交流が一番のやりがい。難しいと思うかもしれないが、やってみると意外と簡単なので気軽に始めてみてください」と話していました。



受入家庭の方へ質問する参加者（江田島市視察）

民泊受入家庭募集中！
修学旅行生などの民泊を受け入れていただける家庭を募集しています。興味のある方・話を聞いてみたい方は、庄原市さとやま体験交流協議会事務局（庄原市観光協会）☎0824-75-0173 へぜひご連絡を！

研修に参加した八谷るりこさん（川北町）は「民泊のメリットが大きいので、まずやってみよう。この事業は行政と地域が協力して一緒に進めていく必要があると感じた」と感想を話していました。同協議会では、受け入れ体制づくりに向け、今後も視察研修や勉強会、民泊を受け入れるモニターツアーの開催など、さまざまな事業を予定しています。

情報政策課

県広報コンクールで最優秀賞
1枚写真の部で高評価

市が発行する市政情報誌「広報しょうばら」10月号の表紙が、平成26年度広島県広報コンクール1枚写真の部で最優秀に選ばれました。写真は、1970年代に西城地域などで目撃されたという謎の類人猿「ヒバゴン」の着ぐるみが、熊野神社（西城町）の参道の杉の大木からひょっこり顔をのぞかせているものです。審査委員からは「何だろう？と読者の眼を引く表現。ヒバゴンへの関心を引く表現になっている」「薄暗い境内



広報しょうばら 10月号の表紙

でヒバゴンがきれいに写っている」「森の中の空間の広がりや空気が良く伝わる」と高く評価されました。

商工観光課

比婆道後帝釈国定公園の魅力再発見！
「山たびセミナー」を開催

比婆道後帝釈国定公園連携事業実行委員会（※）は、連携事業の一環として、2月6日に庄原市ふれあいセンターで「山たびセミナー」を開催し、関係者など約70人が参加しました。このセミナーは、比婆道後帝釈国定公園の魅力向上を図ることを目的に開催し、事例発表と講演会を行いました。事例発表では、休暇村吾妻山ロッジの岩脇純営業課長と、比婆山伝説ガイドツイハラの会の伊達泰輔会長が、本

定公園エリアの魅力向上へ向けた取り組みについて発表。講演会では「健康」「山歩き」「旅」のプロとして名高い清水正弘さんが、比婆道後帝釈国定公園の恵まれた伝統的風土がもたらす健康観や、ヘルスツーリズムを生かした地域活性化の考え方を、自身の経験を交えながらわかりやすく講演しました。参加者からは、「具体的な取り組み、心がけが伝わり参考になった」、「本国定公園には、恵まれた資源がたくさんあることを改めて実感した」などの声が寄せられました。



講演する清水さん

（※）比婆道後帝釈国定公園の知名度アップや来訪者の増加を目的に、関係する4市町（庄原市、神石高原町、島根県出雲町、鳥取県日南町）で構成される実行委員会。

生涯学習課

期待を背に全国での活躍を誓う
全国大会等出場者壮行式

文化・スポーツ部門で全国大会などへ出場する選手の壮行式が2月2日、市役所本庁舎で行われ、出場者をはじめ関係者や家族などが出席しました。式では、木山耕三市長と赤木忠徳市議会副議長が激励のあいさつを行い、出場者に祝金と花束が贈られました。出場者を代表して、田邊謙介さんが決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。出場者は次のとおりです。

●出場者（順不同・敬称略）

- 田邊 謙介（東城中3年）
国民体育大会冬季大会スキー競技会 少年男子の部 ジャイアントスラローム（2月20日～23日）群馬県
全国中学校体育大会・全国中学校スキー大会 ジャイアントスラローム、スラローム（2月5日～8日）青森県
- 香川 雪乃（高野中3年）
国民体育大会冬季大会スキー競技会 少年女子の部 ジャイアントスラローム（2月20日～23日）群馬県
全国中学校体育大会・全国中学校スキー大会 ジャイアントスラローム（2月5日～8日）青森県
- 紅 翔希（比和中1年）
全国中学校体育大会・全国中学校スキー大会 ジャイアントスラローム、スラローム（2月5日～8日）青森県
- 奥田 凜（口南小6年）
JOCジュニアオリンピックカップ K1（小学5、6年生）
スノーシュージャイアントスラローム、スラローム（3月26日～30日）岐阜県
- 熊本 心優（比和小5年）
JOCジュニアオリンピックカップ K1（小学5、6年生）
スノーシュージャイアントスラローム、スラローム（3月26日～30日）岐阜県



出席者で記念撮影

農業振興課

県内有数の菊生産地へと導く
高柴組合長が農林水産功労者表彰

東城菊組合の組合長高柴順紀さんが2月3日、広島県庁で農林水産功労者として県知事表彰を受賞しました。



右：表彰状を手にする高柴さん
下：集出荷貯蔵施設での選花の様子



東城菊組合は昭和61年に東城町菊生産組合として発足し、栽培技術の向上、共販体制の確立、選花機の導入などにより、品質の良い菊生産と販売を進めてきました。こうした功績が認められ平成5年には、組合として広島県朝日農業賞を受賞。その後も、海外視察や電照栽培に取り組みなど技術向上に努めてきました。平成21年には市の農業振興補助金を活用し、JA庄原の菊集出荷貯蔵施設が完成。菊の生産体制の充実が図られ

たことで、県内でも有数の菊産地として現在に至っています。

- 新井 蓮（庄原中1年）
全国中学生空手道選抜大会 中学1年の部 個人組手（3月28日～30日）北海道
- 酒井 華（銀河学院高3年・東城中）
全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会（3月23日～26日）東京都
- 藤川 拓也（青山学院大4年・水越町）
全国都道府県対抗男子駅伝競走大会（1月18日）広島市など

高柴さんのこの度の表彰は、その中心の組合長として長年、組織をけん引してきた功績が認められたものです。高柴さんは「菊生産を続けてこられたのは私一人の力ではありません。これまで組合員のみならず一緒に頑張ってきた成果です。今後も後継者の育成を図りながら菊の産地としてより良いものを生産していきたい」と話していました。市は引き続き、関係者とともに農業振興・菊産地の維持拡大に努めていきます。



Report 3

自由な意見交換で資源活用のアイデアを もてなしワークショップ

西城自治振興区が主催する「もてなしワークショップ」が1月28日、西城自治振興センターで開催され、ト



▲ワークショップの様子

リターン者などを含め17人が参加しました。参加者はそれぞれに思う「西城の地域資源」や活用方法を提案し、地域の人たちとどうやって一緒に盛り上げ、地域づくりにつなげていけるか、そのしくみづくりについて話し合いました。

今回初の開催ということで、参加者からは「地域づくりについて自由に発言できる場ができてよかった」という声が聞かれました。

このワークショップは西城を好きな人なら誰でも参加でき、西城をより良く活性化させるための自由な意見交換の場として、今後も月に1度開催されます。参加したい、興味があるという方は、西城自治振興センター（☎0824-82-2175）までお問い合わせください。

Report 4

華麗なシュプールを描く 第50回庄原市東城地区スキー大会

庄原市体育協会東城支部が主催する庄原市東城地区スキー大会が2月1日、ひろしま県民の森スキー場で開催されました。

今回で50回の節目を迎えたこの大会は、数多くのジュニア選手が巣立った歴史ある大会です。

大会は、個々のレベルに合わせたスキー講習に36人が参加し、競技には5歳から60歳代までの25人が、男女、年齢別の12部門に出場し、タイムを競いました。

大回転競技にエントリーした60歳代の選手は「ここに来ると、スキーと関わったこれまでのことを一瞬で思い出す感じがする。いつまでも挑戦したい」と意気込んでいました。

東城スキークラブ会長の岩本尋明さんは「この大会は私が生まれる前から始まりました。その思いを受け継いで頑張っています。この大会に参加してくれた全ての人がスキーを大好きになってほしいと思います。そして、今後も歴史を積み上げていきたいと思います」と話していました。



▲旗門を攻める60歳代の選手

Report 5

昔の暮らしを学ぶ 比和小が比和自然科学博物館で学習

1月30日、比和小学校3年生の児童8人が、昔から使われていた道具について学ぶため、比和自然科学博物館を訪れました。

進藤眞基館長の指導のもと、児童たちが事前に調べていた昔の道具の名前をもとに、わらで作られていた屋根の家の模型を見ながら、昔ながらの暮らしを学びました。

博物館内には、昔使われていた農作業用の道具なども展示しており、今まで目にしたことのない道具を実際に見て触れることができるとあって、児童たちは興味津々。最後には、それぞれ印象に残った道具の絵を描き、「家に帰っておいちゃん、おばあちゃんに見せたい」と声を弾ませていました。



▲進藤館長から説明を受ける児童

市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 1

伝統の風習で春を感じる とうろう菓子作り体験

総領中学校1年生15人が2月6日、総領高齢者活動センターで伝統のとうろう菓子作りを体験しました。

とうろう菓子は総領独特の風習で、花のない時期に、ひな祭りの花の代用として猫柳の枝に飾って楽しんでいました。

生徒たちは老人クラブの皆さんの指導のもと、赤、黄、緑、白に色付けされた餅を、角樽、提灯などのせんべい鑄型で焼き、ひもを付けて張り合わせる作業を体験。特に、せんべい鑄型で焼く工程では、3~4キロもある型の重さに悪戦苦闘していました。

体験を終えた生徒は「地元の老人クラブの方々と楽しく交流し、伝統行事を体験できて良かった」と喜んでいました。



▲せんべい鑄型で焼き上がったとうろう

Report 2

てっぺん目指し熱戦展開 広島県雪合戦大会・鍋&漬物グランプリ

「第18回広島県雪合戦大会」が1月31日・2月1日、高野スポーツ広場で開催され、県内外から97チームが参加しました。

一昨年に松江自動車道が開通したことで交通アクセスが良くなったこと、また「鍋&漬物グランプリ」の人气が定着してきたことが影響し、会場には選手や観客など2日合わせて5,000人を超える人でにぎわいました。

晴天に恵まれた前大会と異なり、今回は吹雪で視界が悪くなるほどの悪天候となりましたが、どのチームも雪球を投げる、かわす、相手チームのフラッグを奪い合う白熱した試合を展開しました。

2月1日に開催された「第5回鍋&漬物グランプリ」の会場には、今年も開始時刻前から長蛇の列ができ、雪合戦大会に負けない盛り上がりを見せました。

市内外から12団体が出店した鍋グランプリでは、口和町産・瀬戸もみじ豚、高野町産・味噌、広島県産・牛乳などを材料にした「道の駅たかの」の『瀬戸もみじ豚の味噌チャウダー』が、「お茶に合う漬物」をテーマに開催された漬物グランプリでは、古家美壽枝さんの『干柿のロールキャベツ漬け』が漬物名人自慢の漬物19品を押さえ、見事グランプリに輝きました。



▼にぎわう鍋&漬物グランプリ会場



▲迫力の攻め合い



パシャッ!



健康相談

●東城地域
とき 3月13日(金)10時~15時
ところ 東城支所
※1週間前までに東城支所市民生活室へ予約を。
☎ 08477・2・5131

生活相談

●定期巡回児童相談
広島県北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。
●庄原地域
とき 3月12日(木)10時~15時
ところ 庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに児童福祉課あんしん支援係へ予約を。
☎ 0824・73・0051

健康相談

●東城地域
とき 3月17日(火)4月7日(火)
13時30分~16時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター
●口和地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 口和老人福祉センター

健康相談

●高野地域
とき 4月14日(火)
13時~15時
ところ 高野支所
●総領地域
とき 4月8日(水)9時~11時
ところ 総領健康福祉センター
問い合わせ
三次人権擁護委員協議会
☎ 0824・62・2572

健康相談

●行政相談
行政相談委員が国の行政に関する相談に応じます。相談は無料で予約は要りません。
●庄原地域
とき 3月19日(木)
13時~16時
ところ 庄原市ふれあいセンター
問い合わせ
市民生活課市民生活係
☎ 0824・73・1154

健康相談

●東城地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 東城支所
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎ 08477・2・5121

生活相談

●高野地域
とき 4月14日(火)
13時~15時
ところ 高野支所
●総領地域
とき 4月8日(水)9時~11時
ところ 総領健康福祉センター
問い合わせ
三次人権擁護委員協議会
☎ 0824・62・2572

生活相談

●行政相談
行政相談委員が国の行政に関する相談に応じます。相談は無料で予約は要りません。
●庄原地域
とき 3月19日(木)
13時~16時
ところ 庄原市ふれあいセンター
問い合わせ
市民生活課市民生活係
☎ 0824・73・1154

生活相談

●東城地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 東城支所
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎ 08477・2・5121

生活相談

●庄原法律相談センター
広島弁護士会三次地区会の弁護士が、市内で無料法律相談を開催します。相談時間は1人(1件)30分です。利用には予約が必要です。
3月の相談日
●庄原地域
とき 3月24日(火)
13時~16時
ところ 庄原市ふれあいセンター
予約先・問い合わせ
市民生活課市民生活係
☎ 0824・73・1154
または各支所市民生活室

生活相談

●東城地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 東城支所
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎ 08477・2・5121

生活相談

●東城地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 東城支所
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎ 08477・2・5121

生活相談

●身体障害者補装具判定会
「聴覚」3月19日(木)
受付 13時~14時
ところ 広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4・6・1
※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。
☎ 0824・73・1210

生活相談

●心の健康相談
ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。
●エイズ検査・相談
検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。
とき 3月11日(水)4月8日(水)
13時~14時30分
申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
☎ 0824・63・5181

生活相談

●境界トラブル面談
広島県土地家屋調査士会が行う無料の境界トラブル面談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。
とき 毎週水曜日
(祝日・夏季・年末年始は除く)
①13時30分~②15時30分
ところ
広島県土地家屋調査士会
(広島市東区二葉の里一丁目2番44号)
問い合わせ
境界問題相談センターひろしま
☎ 082・506・1171

生活相談

●東城地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 東城支所
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎ 08477・2・5121

生活相談

●東城地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 東城支所
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎ 08477・2・5121

生活相談

●東城地域
とき 3月19日(木)
13時30分~15時30分
ところ 東城支所
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎ 08477・2・5121

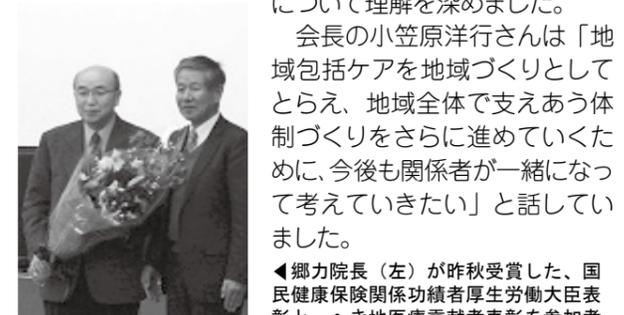
Report 6 地域包括ケアの充実にむけ勉強会
西城町自治振興区連絡協議会

西城町自治振興区連絡協議会が1月30日、地域包括医療・ケアの充実にむけ勉強会を西城自治振興センターで開催し、西城・八銚自治振興区と西城町内の18

の自治会から役員を中心に59人が参加しました。西城市民病院の郷力和明院長を講師に招き、地域包括ケアの充実にむけ住民自治組織の取り組みの重要性について理解を深めました。



▲郷力院長の話に熱心に耳を傾ける参加者



▲郷力院長(左)が昨秋受賞した、国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰と、へき地医療貢献者表彰を参加者全員で喜び合う

Report 7 一面の雪に大はしゃぎ
口和でスノーフェスタが開催

口和町宮内自治会などでつくる実行委員会が主催する「スノーフェスタ in くちわ」が1月25日、元金尾原スキー場で開催されました。



▲みんなで餅つき

今年で第10回を迎えたこのイベントに市内外から約150人が参加。かまくら作りやそりすべりジャンプ大会、雪中宝探しなど、雪を使ったさまざまなイベントに子どもたちは大はしゃぎ。恒例のイノシシ肉入りのうどんや、みんなでついた餅入りぜんざいを味わい、口和の冬の一日を満喫していました。

宮野克己実行委員長は「毎年、雪の心配はあるが、市外の参加者が大勢来てもらえるので、今後も続けていきたい」と話していました。

Report 8 文化財を火災から守るために
市内各地で文化財防災訓練



▲放水訓練(比和町の荒木家住宅)

1月23日から25日にかけて、第61回文化財防火デー(1月26日)に合わせた防災訓練が市内各地で実施されました。

「文化財防火デー」は、昭和24年に国宝「法隆寺金堂」の壁面が焼損したことを機に定められたもので、文化財を災害から守るため、この日を中心として全国的に文化財の防火運動が展開されています。

本年度は高町の「佐田神社」、西城町の「観音寺」、東城町の「多熊神社」、比和町の「荒木家住宅」で実施され、地域住民による通報や消火器による初期消火、地元消防団との連携による消火活動などが行われました。

参加者からは「周辺住民と消防署、地元消防団、文化財関係機関の連絡体制を密にして連携していくことが重要」と話していました。

一人でも悩まないで
まず相談してください。
業務のご案内
●不動産の名義変更 ●成年後見
●相続登記・遺言 ●会社の登記
●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等
●詳しくはホームページに書いています。
司法書士 飯田 一生
庄原 司法書士
広島北部司法事務所
(訴訟代理権認定第524014号) (広島司法書士会所属)
(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナッシュB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか?
あなたの不安な気持ちをお話ください。
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》
庄原市役所児童福祉課あんしん支援係
☎ 0824-73-1243 【月~金9時~17時(年末年始・祝日除く)】
広島県西部
こども家庭センター
☎ 082-254-0391 月~金 10時~17時
休日夜間電話相談
☎ 082-254-0399 月~金 17時~20時
土日祝 10時~17時
広島県北部
こども家庭センター
☎ 0824-63-5181(代) 月~金 10時~17時
内線 2313

10月11日(日) 開催決定!

庄原市制施行10周年 記念式典・記念イベント

平成17年3月31日に1市6町が合併して誕生した『新庄原市』は、本年3月31日で市制施行10周年を迎えます。

さらなる市民の一体感の醸成と、県内外に庄原市をPRするため、節目となる10周年を記念して、式典とイベントを行います。

イベントは、市民の皆さんが出演、参加して楽しめる「市民参加型」のイベントを企画しています。

また、平成27年度は10周年を記念したさまざまな事業を予定しています。

詳しい内容は決まり次第、広報紙やホームページでお知らせします。

とき 10月11日(日) ●式典 : 10時～
●イベント : 11時～16時 (予定)

ところ 国営備北丘陵公園大芝生広場

問い合わせ/総務課行政係 ☎0824-73-1123

9時～11時30分
ところ 庄原自治振興センター
対象 小・中学生
定員 若干名
会費 毎月1千円
締め切り 3月25日(水)
申し込み・問い合わせ 館長 岡本恵美子
☎0824・72・4363

「減塩川柳」募集
高血圧対策として推奨している「減塩」を、多くの皆さんに身近に感じてもらえるよう「減塩」をテーマにした川柳を募集します。

応募資格 市内に在住・通勤・通学している人



募集作品 「減塩」に関する『5・7・5』の川柳

作品は1人1点、自作で発表のものとし、返却はしません。また、作品に関する著作権は庄原市に帰属し、今後の健康づくりの推進に活用させていただきます。

表彰 最優秀賞(1点) 優秀賞(3点) 部門賞(10点)

作品は全て「健康福祉まつり2015」会場に展示し、入賞者には表彰に合わせた素敵な健康グッズを進呈します。

応募方法 応募用紙または白紙の用紙に作品・住所・氏名・年齢・電話番号・未成年の場合は保護者名を記入し、左記まで提出してください。(FAXでも可)

応募締め切り 3月31日(火)

提出先・問い合わせ 保健医療課健康推進係
☎0824・73・1255
FAX0824・75・0245
または各支所市民生活室

その他

平成27年度福祉タクシー券の交付が始まります

市は、障害のある方の社会参加を促進するため、タクシー料金を助成する「福祉タクシー券」を交付しています。交付を希望する方は、申請をお願いします。

申請時期 申請の受け付けは、3月26日からを予定しています。(使用できるのは、4月1日からです)

対象者 市内に住所があり、次の①～③のいずれかの手帳をお持ちの方。

①身体障害者手帳 1級、2級、3級、4級
②療育手帳 (A、A、B)
③精神障害者保健福祉手帳 1級、2級

助成内容 1枚300円分の福祉タクシー券を72枚交付します。(5月以降に新たに手帳を取得または転入した方は、その月に応じて交付枚数が少なくなります)

手続きに必要なもの
●障害者手帳
●申請に来られる方の印鑑

医療機関の証明(タクシー券を選択する新規の方)
●申請に来られる方の印鑑

手続き・問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係
☎0824・73・1210
各支所市民生活室

広告 「この社会あなたの税がいきている」
—インターネットで申告・納税できる—
利用推進運動中
e-Tax (国税電子申告・納税システム) <http://www.e-tax.nta.go.jp>

めざまし
よき経営者による 正しい納税で
企業の繁栄と社会への貢献

公益社団法人 庄原法人会
〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
HP: <http://www10.ocn.ne.jp/~shk/>

催し

時悠館春休み特別展
●第25回中国山地豊かな自然写真展
里山の自然と民俗行事を写した作品38点を展示します。

とき 3月12日(木)～4月5日(日)
9時～17時
ところ 時悠館
入館料 高校生以上400円
問い合わせ ☎08477・6・0161

時悠館文化講演会

●古瀬清秀広大学院文学研究科教授退官記念講演
大迫山第1号古墳(東城町)など市内の遺跡発掘に功績のあった古瀬清秀教授が、埋蔵文化財の研究と郷土史への反映について解説します。

とき 3月21日(土・祝)
14時～15時30分
ところ 時悠館
講師 古瀬清秀さん(広島大学大学院文学研究科教授)
問い合わせ ☎08477・6・0161

募集

市は、将来、市内の医療機関などに医師・看護師などとして勤務しようとする意思のある方に対し、修学などに必要な資金を貸し付ける「医療従事者育成奨励学生」を募集します。

受付締め切り 4月24日(金)(消印有効)

奨学金貸付対象者 平成27年度医療従事者育成奨励学生募集

市は、将来、市内の医療機関などに医師・看護師などとして勤務しようとする意思のある方に対し、修学などに必要な資金を貸し付ける「医療従事者育成奨励学生」を募集します。

募集方法 応募用紙または白紙の用紙に作品・住所・氏名・年齢・電話番号・未成年の場合は保護者名を記入し、左記まで提出してください。(FAXでも可)

応募締め切り 3月31日(火)

提出先・問い合わせ 保健医療課健康推進係
☎0824・73・1255
FAX0824・75・0245
または各支所市民生活室

子ども教室受講生募集

●子ども文学館短歌教室
とき 毎月第1土曜日
13時30分～15時30分
ところ 庄原市民会館
対象 小学生
定員 若干名
会費 毎月1千円
締め切り 3月25日(水)
申し込み・問い合わせ 館長 新枝松子
☎0824・74・0636

●子どもの館マナー教室
とき 毎月第2・4土曜日

①大学の医学を履修する課程に在学する者
②養成施設で、看護学生などとして履修する課程に在学する者

募集定員
①医学生 若干名
②看護学生など 10人以上

貸付金額
①医学生 月額20万円以内
②看護学生など 月額7万円以内

貸付者の決定 5月中旬に貸付審査委員会が面接を行い、決定。

問い合わせ 保健医療課医療予防係
☎0824・73・1155

口和郷土資料館映画上映会

飛べ!ダコタ

終戦5カ月後に、佐渡島の小さな村の砂浜へエンジントラブルで不時着したイギリス空軍輸送機「ダコタ」。この乗組員が言葉や文化を越え、佐渡の人たちの温かい支援を受けて、ダコタが再び大空に飛び立つまでを実話に基づいて描かれています。

主演は「比嘉愛未」、監督は竹原市出身の油谷誠至、主題歌は尾道市出身の石井里佳が歌っています。

この感動の映画『飛べ!ダコタ』の上映は、県北では初公開ですのでぜひご覧ください。

※会場の「ふれあいシネマ」では、映画館用の高級な座席でゆったりと鑑賞ができます。

とき 3月15日(日) 13時30分～
ところ 口和郷土資料館「ふれあいシネマ」
鑑賞料 300円

問い合わせ 口和郷土資料館 ☎0824-87-2230
口和教育室 ☎0824-87-2111

住友不動産の「新築そっくりさん」

「古民家再生」住友不動産には、技がある。

寒い、暗い、弱い。古民家の抱える問題は、場所によっても年代によってもバラバラです。それぞれの古民家に対して正しい解決法を導き出せるのは、豊富な経験と実績に他なりません。お客様の古民家のお困りごと、まずは建物調査から始めましょう。

下記フリーダイヤルに問い合わせ頂ければ、資料(旧家新築論)など差し上げます。

☎0120-093-395 (午前9時～午後6時(土・日・祝も受付しております))
☎082-532-1326 (新築そっくりさん 広島 営業部)

新築そっくりさん 広島事業所
〒733-0013 広島市西区横川新町6-8
西区民センター1F

在宅高齢者紙おむつ購入
助成券を交付します

市は、紙おむつを必要とする重度の要介護者を在宅で介護している同居家族などに対して、その経済的負担の軽減を図るため、紙おむつ購入助成券を交付しています。

交付対象者

市内に住所があり市民税非課税世帯に属する人で、次の要件のすべてに該当する高齢者を同居で在宅介護している人

在宅高齢者の要件

- ①市内に住所があり、現に居住している人
- ②紙おむつを必要とする状態にある人
- ③介護保険の要介護認定が3・4・5と判定されている人
- ④市民税非課税世帯に属する人

交付枚数（1枚3千円分）

- 申請月で交付枚数が異なります。
- ①4月から6月まで25枚
- ②7月から9月まで20枚
- ③10月から12月まで15枚
- ④1月から3月まで10枚

購入できる品目
紙おむつ、紙パンツ、尿取りパッド、おむつカバー、清拭剤、携帯トイレ用消臭剤、防水シート、介護用手袋
使用上の注意

または各支所市民生活室

知ってください！里親制度

さまざまな事情により家庭で暮らすことができない子どもを、一時的または社会的に自立するまでの間、それぞれの家庭に迎え入れ、愛情と正しい知識を持って養育するのが「里親制度」です。

里親になるためには特別な資格は必要ありません。子どもの養育に理解があり、一定の要件を満たしていれば里親になることができます。

ふれあい里親

夏・冬休みなどに、児童福祉施設で生活する子どもを預かり、家庭で過ごさせる方。

養育里親

「親の入院の間」「社会的に自立するまで」などの一定期間、家庭で育てる方。

養子縁組希望里親

将来的に養子縁組によって養親となることを希望し、養子縁組が成立するまでの間、里親として子どもを家庭で育てる方。

親族里親

両親が死亡や行方不明などで養育ができなくなった場合に、子どもの親族で家庭的な

助成券が使用できる協力店でのみ購入できます。病院や施設に入院・入所している期間などは使用できません。

必要書類など

- 申請書（居宅介護支援事業者などの確認印が必要）
- 印鑑

※申請書は、高齢者福祉課介護保険係・各支所市民生活室保健福祉係・市内居宅介護支援事業所にあります。

申請先・問い合わせ

高齢者福祉課介護保険係
☎0824・73・1167
または各支所市民生活室保健福祉係

アライグマ・ヌートリア防除従事者証の更新手続きを

現在発行されているアライグマ・ヌートリアの防除従事者証は、3月31日(火)で有効期限が切れます。防除従事者として引き続き活動するには、更新手続きが必要です。

更新手続きには、現在お持ちの防除従事者証と印鑑をお持ちのうえ、林業振興課または最寄りの支所産業振興室・産業建設室へお越しください。

問い合わせ
林業振興課林業振興係
☎0824・73・1124

固定資産縦覧帳簿の縦覧

平成27年度の固定資産縦覧帳簿の縦覧を行います。

この縦覧は、納税者の皆さんが所有する土地・家屋の評価額について、縦覧帳簿に記載されている他の土地・家屋と比較できる制度です。

なお、平成27年度は評価替えの年であり、評価替え後の課税明細は5月に送付する納税通知書および課税明細書によって確認することができます。

縦覧期間

4月1日(水)～6月1日(月)
(土・日曜日、祝日を除く)
8時30分～17時15分

縦覧場所

税務課、各支所市民生活室
縦覧できる人
①固定資産税(土地・家屋)の納税者本人またはその同居の家族

- ②納税者の同意書または委任状を持参する人
- ③納税管理人
- ④法人の場合は、代表者またはその委任を受けた人
- ⑤法定代理人

(本人確認ができるものをお持ちください。)
問い合わせ 税務課資産税係
☎0824・73・1144

バイク・軽自動車などの廃車・名義変更の手続きをお忘れなく

軽自動車税は、毎年4月1日現在に軽自動車を所有登録している方に課税されます。原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車および二輪の小型自動車を「人に譲った」「廃車にした」「盗難にあった」など変更があった場合は、必要な手続きを行ってください。4月2日以降に廃車手続きがされたものについては、その年度の軽自動車税が課税されます。各種手続き、問い合わせ先は次のとおりです。

軽自動車の種類	手続き・問い合わせ
原動機付自転車(125ccまでのバイク)、小型特殊自動車・農耕用車両	税務課資産税係 ☎0824-73-1144 または各支所市民生活室
軽自動車(四輪・三輪)	軽自動車検査協会広島主管事務所 ☎050-3816-3080 広島市西区観音新町4丁目13番13-4号
軽二輪車 (125ccを超え250ccまでのバイク)	広島県自動車整備振興会軽自動車部二輪窓口 ☎082-295-2244 広島市西区観音新町4丁目13番13-3号
二輪小型自動車 (250ccを超えるバイク)	中国運輸局広島運輸支局 ☎050-5540-2068 広島市西区観音新町4丁目13番13-2号

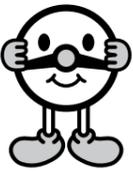
●税額などの問い合わせ
税務課資産税係☎0824-73-1144 または各支所市民生活室

環境で育てる方。
「里親になろうかな」と思ったら...ぜひご相談ください。
問い合わせ 広島県北部こども家庭センター
☎0824・63・5181

飲酒運転の根絶！

皆さん一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、させない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

ハンドルキーパー運動にご協力ください



お酒を飲むときには、ハンドルキーパー(お酒を飲まず仲間を送り届ける人)を確保して、絶対に飲酒運転はしないようにしましょう。

危機管理課
☎0824・73・1206

申告書の作成は、便利な「確定申告書等作成コーナー」で！

「確定申告書等作成コーナー」でできること

- 「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に従って金額などを入力することにより、確定申告書などを作成することができます。また、印刷して税務署へ郵送などにより提出することもできます。
- 作成した申告書データを保存しておけば、翌年の申告時に読み込んで活用できます。

詳しくは 国税庁 で 検索

申告と納税は期限内に！

所得税および復興特別所得税・贈与税 3月16日(月)

消費税および地方消費税(個人事業者) 3月31日(火)



一人一人の心がけて
火災のないまちを目指しましょう

3月に入り、季節的に空気が乾燥し、強い風が吹くなど、火災が発生しやすい時期になりました。この時期は、まだ暖房器具を使用することが多くなることから、毎年火災が多発しています。日ごろから防火意識を持ち、火の取り扱いには十分注意し、尊い命と大切な財産を守りましょう。



危機管理課危機管理係
☎0824-73-1206

山根木材のリフォームは「木+新発想」の提案力に自信があります。

所長 木村俊之

無料現地調査いたします。

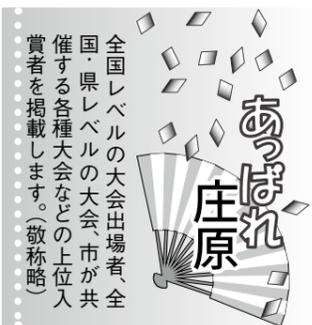


山根木材リフォーム事例集プレゼント!!

リフォーム後の実際の暮らしがみえる！
木と家づくり104年の実績を活かしたリフォーム事例

広告

広島北リフォームショールーム 広島市安佐北区可部南5丁目4-4
リフォームや現場見学会のお問合せ その他ご相談はこちらまで Tel.082-819-2210



全国レベルの大会出場者、全国、県レベルの大会、市が主催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国大会

全国小学生雪合戦大会
(2月21日/兵庫県香美町)
優勝 高野雪合戦部(高野町)

全国高校選抜大会 (なぎなた競技)
(3月21日/22日/兵庫県伊丹市)
●男子の部 久保 寛明 (三次高1年・西城町)

国民体育大会冬季大会 スキー競技会
(2月20日/23日/群馬県)
●成年女子Aジャイアントスラローム 空 (武庫川女子大2年・東城町)

西日本小学生スキー大会
(1月18日/鳥取県大山町)
●高学年の部 第3位 奥田 凜

中四国大会

中四国地区 銃(短)剣道選手権大会
(2月7日/高知県南国市)
●一般の部団体戦 準優勝 小奴可剣友会

名越 光希(東城町)
立川 翔太(山口大4年・東城町)
道下 大也(東城町)
宇志 伸二(東城町)
小原 利美(東城町)
●一般の部個人戦 準優勝 立川 翔太(山口大4年・東城町)

全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会中
国ブロック予選会
(12月22日/23日/広島市)
第5位 酒井 華 (銀河学院高3年・東城町)

県大会ほか

広島県民体育大会 (陸上競技の部)

(10月5日/上野総合公園陸上競技場)
●男子100m 第4位 山本 陸弥(山内小6年)
●男子80mハードル 第3位 田邊 勇貴(総領小6年)
●男子走り幅跳び 第3位 松浦 正樹(永末小6年)
●女子80mハードル 第5位 永井 晴奈(永末小6年)
●女子走り幅跳び 第6位 丹波 慶美(西城小6年)

広島県中学校スキー選手権大会
(1月7日/9日/芸北国際スキー場)
●女子回転 第6位 小田 采奈(比和中2年)
●女子大回転 第4位 香川 雪乃(高野中3年)
●男子回転 第1位 田邊 謙介(東城中3年)
第3位 榎井 亮佑(西城中2年)
●男子大回転 第1位 田邊 謙介(東城中3年)
第4位 堀井 亮佑(西城中2年)

RCCcupアルペンスキー競技・MIZUHO大会
(1月12日/13日/瑞穂ハイランド)
●中学生男子の部 第2位 田邊 謙介(東城中3年)
●小学生男子の部 第3位 奥田 凜(口南小6年)
第4位 松浦 祐汰(東城小6年)
●中学生女子の部 第5位 天根 千晴(高野中1年)
●小学生女子の部 第1位 熊本 心優(比和小5年)
第4位 榎井 亮佑(西城中2年)

●国民体育大会冬季大会 広島県選考会
(1月12日/13日/瑞穂ハイランド)
●スキー少年男子 第5位 田邊 謙介(東城中3年)
●スキー少年女子 第4位 香川 雪乃(高野中3年)

広島県雪合戦大会
(1月31日/2月1日/高野スポーツ広場)
●ジュニアの部 優勝 高野雪合戦部(高野町)
●レディースの部 優勝 C C D レディース(東城町)
第3位 格致ソフトボール部(西城町)

●一般の部Fリーグ 準優勝 雪人(高野町)
第3位 C C D ボーイズ(東城町)
●一般の部Pリーグ 優勝 雪村時代(高野町)
第3位 Hi・Field(高野町)
チーム和南原左衛門ズ(高野町)

『ことばの輝き』優秀作品コンクール
●本を読んで考え、表現する力部門 最優秀賞 榎井 亮佑(西城中2年)
●論理的に表現する力部門 最優秀賞 榎井 亮佑(西城中2年)

日本最大級!! スイセンコレクション スイセンファンタジー 2015開催!!

3月14日(土)~4月10日(金)開催!
※開花状況により日程が変更される場合があります。



国営備北丘陵公園だより
備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000
(http://www.bihoku-park.go.jp/)

3月14日(土)から「スイセンファンタジー2015」を開催します。

日本最大級! 600品種、110万本のスイセンが咲き広がります!

みのりの里「スイセンガーデン」では3月下旬から4月上旬にかけて、白や黄色の鮮やかなスイセンが丘一面に咲き広がります。今年には新たに100品種、35万本増え、日本最大級規模(園芸品種)約110万本、600品種になりました。スイセンが次々に咲き続ける景色は見応えがあります。週末を中心に観察会やスイセン切り花体験などイベントも開催します。

【スイセン豆知識】

スイセンは世界中で古代から愛好されており、品種改良も盛んに行われてきました。花の形、色の違いなどによって約2万6千種類以上の品種が、英国王立園芸協会に登録されています。公園のスイセンは冬に咲くニホンスイセンとは異なり、3月に入ってから

ら花を咲かせる品種です。園芸品種とも呼ばれるこれらのスイセンは、黄色、白、オレンジ、ピンクなどカラフルな色とさまざまな形の花弁が特徴です。スイセンの多彩な表情をお楽しみください。

【スイセンの見方】

公園のスイセンは、花を咲かせる時期によって、「早咲き」「中咲き」「遅咲き」の品種に大別されます。「早咲き」の品種は、3月上旬ごろから一部の品種が花を咲かせ始め、続いて「中咲き」の品種は3月中旬~下旬、「遅咲き」の品種は3月下旬から4月上旬にかけて次々に花を咲かせます。

スイセンが一面に咲きそろふ時期は3月下旬~4月中旬頃です。スイセンが咲く丘の下側から花壇を見上げると、視界いっぱいスイセンが咲き広がり、備北公園ならではの眺めを楽しめます。ガーデン内には舗装された通路やスロープがあり、階段には手すりもありますので安心してスイセンが観賞できます。

期間中のイベント

- 高橋健さんの野球教室 トークショー
とき 3月14日(土)10時~
ところ 北入口エントランスセンター国兼
- CARP写真ハネル展
とき 3月14日(土)~4月5日(日)
ところ 北入口エントランスセンター国兼
- 中国横断道尾道松江線 開通記念イベント
とき 3月29日(日)10時~
ところ 北入口エントランスセンター国兼

※期間中のイベントなどは、電話または公園ホームページでご確認ください。期間中のイベントの詳細な日程は、電話または公園ホームページでご確認ください。

優秀賞

- 近藤 優妃(東小1年)
- 白根 浩奈(比和小4年)
- 豊かに表現する力部門 最優秀賞 森永 葉月(口北小1年)
- 優秀賞 佐々木真凛(粟田小1年)
- 田部 琉晟(板橋小4年)
- 藤田 涼子(庄原中1年)

第67回鈴木三重吉賞

- 特選 作文の部 田中 遥香(比和中3年)
- 特選 詩の部 森田 琴月(小奴小2年)
- 堀田 静流(板橋小4年)
- 堂前 楓華(口北小5年)
- 優秀賞 作文の部 藤谷 凧沙(板橋小1年)
- 今井さくら(口北小1年)
- 森元 裕太(板橋小3年)
- 田部 琉晟(板橋小4年)
- 寺本 汐織(板橋小6年)
- 児玉 吉平(庄原中1年)
- 優秀賞 詩の部 森本慎太郎(東小1年)
- 明賀 大(東小1年)
- 津田ほのか(比和小2年)
- 穂崎 拓也(峰田小3年)
- 妹尾 太陽(東城小3年)

- 学校賞 作文の部 庄原中学校

人の動き 平成27年1月末現在

【住民基本台帳登録人口】
人口 38,166人 (前年比-646人)
男 18,060人 (前年比-302人)
女 20,106人 (前年比-344人)
世帯数 15,914世帯 (前年比-15世帯)
【うち外国人】人口 325人 (前年比+60人)

休日診療のご案内

3月・4月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始 (12/30～1/3)
●東城地域

Table with 3 columns: Date, Location, Phone Number. Rows include 3月15日(日) 東城病院, 21日(土) こぶしの里病院, etc.

ロビーコンサート 園生涯学習課 ☎0824-73-1188

とき 3月23日(月)12時15分～55分
ところ 市役所1階市民ホール
出演者 木本いず美 (ジャズボーカル)
なかにし隆 (ピアノ)
曲目 愛燦燦、Over the rainbow ほか
▶木本いず美…日本テレビ系番組「11PM」の大橋巨泉率いる「ザ・サラブレッズ」のヴォーカルでデビュー。1978年実力派ジャズコーラスグループ「ITS」に参加。解散後、日本最古の音楽である「雅楽」と出会い、雅楽と西洋音楽が融合した「YAMATO」を結成。日本古来の和の精神を広島の心として、核の廃絶を願い世界平和を祈って、和魂洋才の音楽を世界に向けて発信している。YAMATO 主宰。広島市出身。▶なかにし隆…大学生時代から広島市内のライブハウスなどで自己のピアノ・トリオでライブ活動を開始し、広島市内のジャズ・ライブハウスのハウス・ピアニストとして数多くの国内外の有名アーティストと共演を果たす。現在も、地元ミュージシャンはもとより、東京、大阪をはじめ全国の有名ミュージシャンのセッション・ツアーに参加するなど演奏活動を展開中。

広報日記

特集でご紹介したように、発達障害はここ数年でかなり認知されてきました。書店でも発達障害に関する本が多く並び、インターネットでもすぐに調べられるので、今回ご紹介した内容を知っている方は多いかもしれません。ですが、発達障害についての理解は、まだまだ進んでいない現状があると思います。誰もが安心して暮らしていくためには、こうした障害への理解が進み、支援の輪が広がることです。今回の特集を皮切りに、今後もさまざまな障害に関する記事をお届けしていく予定です。 (調)

食育コーナー 園保健医療課 ☎0824-73-1255

『男子厨房に入る』～男性も楽しく料理をしています～

「おいしそうにできたのう」「わしらもやればできるもんじゃ」…。男性料理教室では、調理を終えた達成感とともに満足感あふれる声がよく聞かれます。

皆さん料理教室に参加する目的はさまざまですが、畑で作った野菜や山菜・きのこなど持ち寄ったもので料理したり、蕎麦打ちなど旬を味わったりしながら、情報交換もできる楽しい料理教室になっています。盛り付けや彩りにも気を配るなど、繊細な一面も見られます。当初、「食べた後に片付けるのはたいぎいのう」と話していた方も、「家で食べ終わった後、流しまでは持っていくようになった」と参加を続けることでの変化も見られます。

現在、自治振興区などで料理教室を実施するところが増えています。今後、各地域で「今日もおいしいのを作ろうで」の声が聞けるようになればと思います。

庄原市保健福祉センターで開催している男性料理教室
★いきいきメンズ倶楽部 毎月第3木曜日
☆さわやかクッキング 毎月第4火曜日
※興味のある方はご連絡ください。

レシピの紹介 しいたけとみつばの長芋あえ



- 材料 (4人分)
しいたけ…8枚
酒 …大さじ3
三つ葉 …1束
長芋 …200g
刻み海苔…適量
酢 …大さじ2
砂糖…大さじ1
A しょうゆ…小さじ2
練りわさび …適量
(好みで加減)

※一人当たりのエネルギー量：49kcal/食塩相当量0.2g

- ① しいたけは軸を取り、薄切りにして鍋に入れ、酒を加え弱火で炒め、汁けをきっておく。
② 三つ葉はざく切りにし、さっと湯がき水けを絞っておく。
③ 長芋は皮をむいてナイロン袋に入れ、麺棒などでたたき粗くつぶしておく。(形が残る程度)
④ ボウルにAを合わせる。
⑤ ①②③を④で和えて器に盛り、刻み海苔をのせる。

犬・猫の引き取り 園環境政策課 ☎0824-72-1398

3月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。手続きには認印が必要ですので、持参してください。なお、定時定点引取りは、3月の引き取りをもって終了します。

Table with 4 columns: Location, Date, Time, Place. Rows include 庄原地域 第2・4水曜日 9:00～9:30 市役所車庫, 東城地域 3月11日・25日 10:40～11:10 東城支所 正面駐車場

※飼い犬・猫の引き取り(有料)を希望する方は、必ず事前に広島県動物愛護センター(☎0848-86-6511)に連絡し、承諾を得てください。

口和郷土資料館 ☎0824-87-2230 開館日：月・木・土 9時～17時

レーザーディスクプレーヤー(LD)



これは、昭和60年にパイオニア(株)から発売された「レーザーディスクプレーヤー」、一般には「LD」(以下LD)、あるいは音のLPレコードに対して「光のレコード」とも呼ばれました。光ディスクに記録された映像と音声を再生し、家庭用のTV受像機で鑑賞できます。VTRと違って記録はできないので、映画や音楽ソフトの鑑賞、ビデオカラオケなどに使われていました。この光学方式のプレーヤーは、昭和45年にオランダとアメリカで開発され、日本ではパイオニア(株)で、昭和54年に1号機が発売されています。

当時は日本ビクター(株)から既に別方式のVHDが発売されており、VHDの13社に対し、LDは1社のみでしたが、ディスクからの読み取りに針を使用するVHDより、レーザー光を使った非接触式で寿命が長いLDは、画質や操作性などでも優れていたため広く普及していきました。

仕組みは、光ディスクを高速(600～1800rpm)で回転させ、読み取りの光ピックアップにはCDプレーヤーと同様の赤色レーザー光が使われています。ディスクはアクリル樹脂製で、表面にはピットと呼ばれる非常に細かい凹みが内側から外側へらせん状にアルミ蒸着されており、そのピットへレーザー光を当て、反射の「有」・「無」の情報から映像と音声を再生します。

LDにはCDと共通した機能があるため、昭和59年にはLDとCDの兼用機も作られました。直径30cmのディスク両面で120分、20cmのディスクには両面には40分の記録ができます。初期の光ピックアップには、大きなガス式レーザーが使われていましたが、小型で性能の良い半導体レーザーの使用と技術の進歩で性能が飛躍的に向上、後には高画質なハイビジョンLDも作られていました。

今では、DVDや次世代の青色レーザー光を使ったブルーレイディスクなどの出現によって、LDは姿を消しています。

献血のご案内 園保健医療課 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

Table with 3 columns: Date, Location, Time. Row: 3月11日(水) 市役所東城支所 10時～11時30分 12時30分～15時

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX (西本町二丁目1番21号)

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

里山のしらべ 立田幸子絵画展

とき 4月8日(水)～10日(金)10時～16時
園庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411

3月・4月のイベント情報

- ▶ゆめさくら講座
○かずら教室
①フラワースタンド(花台) ②犬の親子
とき 3月20日(金) ①9時30分～12時 ②13時～15時30分
参加費 ①2,800円 ②1,500円 定員 各12人
▶展示・その他
○手仕事 里山のふくろうと仲間達展
とき 3月20日(金)～4月20日(月)
○書作展(春和会)
とき 4月11日(土)～19日(日)

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
★出店者募集中!あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局 ☎0824-72-8285 まで
とき 4月9日(木) 9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
詳しくはHPで http://www.kunchi-ichi.jp

市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口をお願いします。残高確認も忘れないでください。
●税務課収納係 ☎0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●水道課業務係 ☎0824-73-1197

【お詫びと訂正】

広報しょうばら2月号の20ページ、ぐるり庄原カメラレポート「言葉の壁もなんのその比和小で子ども国際教室」の記事のなかで、誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫びいたします。
(誤) J A I C A
(正) J I C A

Vol.53

冠雪山桜



撮影場所／口和町宮内（平成 25 年 4 月 11 日撮影）

1年に一度だけ咲く桜。今年もそんな季節が近づいてきました。

この桜は口和町宮内の山裾に咲いた桜です。有名ではないけれど、季節はずれの雪に耐え可憐に咲いたその姿は、

「1年に一度しか咲かないけれど、その時間は短いけれど、一生懸命咲いたよ」と、私にエールを送ってくれているようでした。

本山美土里（口和町）

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを2000字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.lg.jp

庄原の食材を扱うお店を応援します！



中国料理 北京



所 東城町川東 878-1
☎ 08477-2-3552
営 10:00~22:00
休 火曜日
備 駐車場有り

取り扱う市内産食材
米、野菜



★店長の村木計彦さんに聞きました。

なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？
地元で採れた新鮮な食材をお客さまに提供したかったためです。

産物を使った、安全で工夫を凝らした幅広い手作りメニューを取りそろえています。

お店の推進店としてのこだわりは？
東城の恵まれた自然で育まれた農

皆さんへ一言
ご家族、ご友人との楽しいひと時を、ぜひ当店にてお過ごしください。 ナスミンチ▶

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。詳しくは、保健医療課健康推進係（☎ 0824-73-1255）まで。